

水路、小川の変化



1994年11月



2000年5月

3面コンクリート化



流れ込む下水



落ちて出られないカメ



出られなかったカエル

少なくなったメダカ

1999年環境庁によりメダカが、絶滅危惧種に指定されました。和歌山市でも、1980年に比べると、大変少なくなり、1999年の調査では、自然の中で数百匹以上のまとまりが、健全に越冬している場所は、わずか5ヶ所しかありませんでした。その場所でも生息水域はせまく、生息数も多くはありません。また、たくさんの下水が流れ込むと、すぐにでも死んでしまうという状態です。メダカは、水田とその用水路というような湿地帯の環境に非常に適応した魚で、水や周りの環境さえよければ、一年の間に爆発的に増えます。メダカをはじめ多くの水生生物のすみ場所を何らかの形で残しておきたいものです。